防除所レポート

ひこばえ（再生稲）におけるイネ縞葉枯病の発生状況と防除対策

病害虫防除所において、本田調査で発病の多かった県央・県南・県西地域の全市町村（33 地点）のひこばえ（再生稲）について、イネ縞葉枯病の発生状況を調査しました。いずれの地域においても、発病株率の高い地点が見受けられ、引き続き徹底した防除対策が必要です。可能な限り速やかにひこばえをすき込むとともに、冬季のイネ科雑草の除草（特にほ場周辺）に努め、ウイルスを保毒したヒメトビウンカの越冬量を減らしましょう。

［現在の発生状況］

① 県央・県南・県西地域のひこばえについて、33 市町村でイネ縞葉枯病の発生状況を調査した結果、31 市町村で発生を確認した（図、表）。
② 地域別の平均発病株率は、県西、県央、県南地域の順で高かった（表）。
③ 今回調査した 33 地点中の最高発病株率は、69.7%であった（表）。

［防除対策］

① ひこばえは、ヒメトビウンカの増殖・越冬場所となるため、収穫後は速やかに耕起する※。
② 畦畔等のイネ科雑草は、ヒメトビウンカの越冬場所となるため、除草に努める。

※畦畔のイネ科雑草におけるヒメトビウンカの越冬虫数は、水田の耕起時期が早いほど少ない（R1 農業研究所主要成果より）。

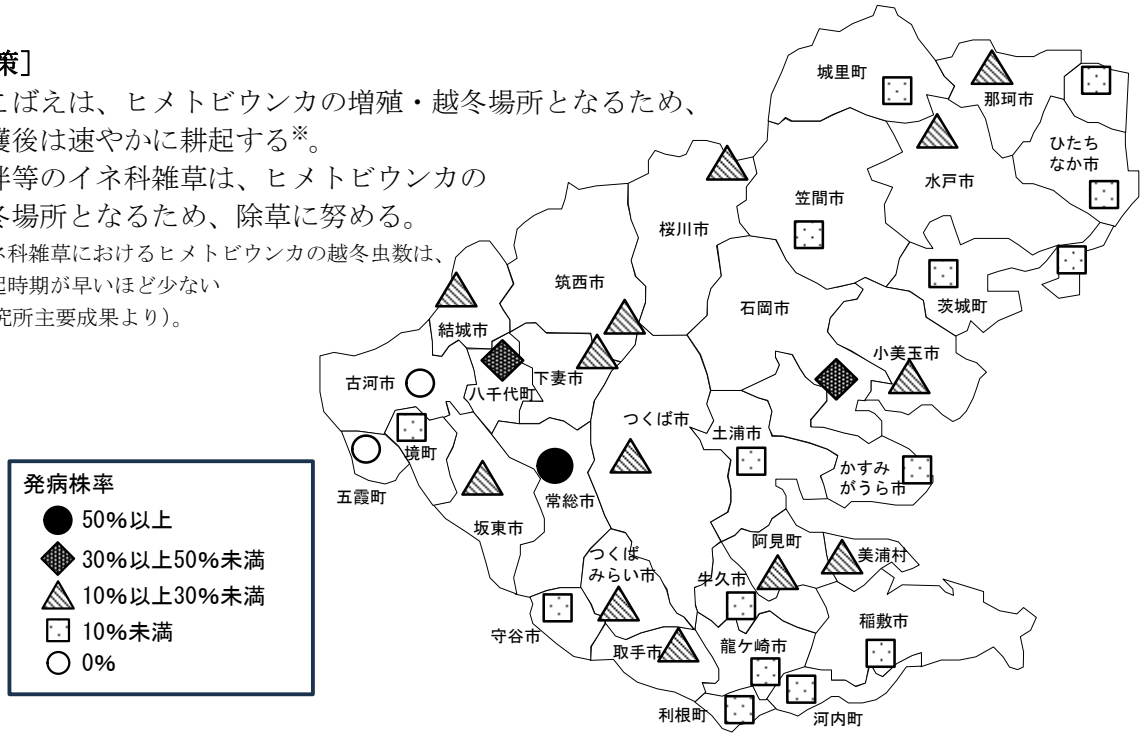


図　ひこばえ（再生稲）における発病株率（各地点の最高値）

表　ひこばえ（再生稲）における市町村別平均発病株率および最高発病株率

地域	市町村	発病株率（%） 平均[1]	最高[2]
県央	水戸市	12.5	18.0
	ひたちなか市	2.3	4.7
	那珂市	18.7	26.3
	小美玉市	9.7	21.0
	茨城町	3.5	8.3
	大洗町	1.1	3.0
	東海村	2.5	6.7
	笠間市	3.8	8.0
	城里町	3.0	5.3
	県央平均	6.3	－

地域	市町村	発病株率（%） 平均	最高
県南	土浦市	0.3	1.3
	石岡市	20.4	30.7
	かすみがうら市	2.5	4.7
	龍ケ崎市	2.9	4.7
	牛久市	1.1	2.3
	稲敷市	3.9	7.0
	美浦村	8.5	17.7
	阿見町	8.7	17.0
	河内町	3.4	8.3
	取手市	4.2	10.0
	つくば市	5.2	10.7
	守谷市	4.4	8.3
	つくばみらい市	10.2	22.0
	利根町	6.3	9.0
	県南平均	5.9	－

地域	市町村	発病株率（%） 平均	最高
県西	下妻市	6.3	18.0
	筑西市	15.3	22.3
	桜川市	6.6	17.3
	結城市	7.3	19.0
	常総市	36.2	69.7
	八千代町	17.3	30.7
	古河市	0	0
	坂東市	8.7	13.3
	五霞町	0	0
	境町	2.1	5.0
	県西平均	12.5	－
3地域平均		8.2	－

1）各市町村1地点調査。1地点あたり3～5ほ場調査（300株/ほ場）※品種不明
2）市町村内で最も高かったほ場のデータ